

令和4年度行政事業レビューシート ( 内閣府 )

事業名	グローバル・スタートアップ・キャンパス構想関連調査事業			担当部局庁	科学技術・イノベーション推進事務局	作成責任者	
事業開始年度	令和5年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	参事官(イノベーション推進担当)	武田 憲昌	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	内閣府設置法(平成11法89)第4条、第40条の4			関係する 計画、通知等	経済財政運営と改革の基本方針2022(令和4年6月7日閣議決定) 新しい資本主義実行計画(令和4年6月7日閣議決定) 統合イノベーション戦略2022(令和4年6月3日閣議決定)		
主要政策・施策	科学技術・イノベーション			主要経費	その他の事項経費		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	日本の「第二の創業期」を実現するため、海外大学や外国人研究者と連携し世界トップレベルの革新技術を生み出し、それをスタートアップ創出につなげることで、産業構造の変革を目指す。そのためには、現在、日本には構築できていない、研究シーズからスタートアップを起こしていくエコシステムの形成が必要。これを実際に体現するため、世界に通用する完全なグローバル空間のスタートアップ・キャンパスの創設を目指し、具体の構想を検討するもの。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	スタートアップ・キャンパス構想関連調査事業として、以下の4点を実施するもの。 (1)全体計画の検討に資する調査・分析(現状分析、先進事例収集、定量的なシミュレーション等) (2)グローバルスタートアップキャンパス構想の策定に向けた事業収支検討調査 (3)事業構想検討委員会(有識者会議)の運営 (4)各分野ごとの海外大学との交渉・フィージビリティスタディ						
実施方法	委託・請負						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求	
		当初予算	-	-	-	-	675
		補正予算	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	
	計	0	0	0	0	675	
	執行額	0	0	0			
	執行率(%)	-	-	-			
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	-	-	-			
令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由			
	科学技術基礎調査等委託費	-	638.9	重要政策推進枠:675			
	職員等旅費	-	33.6				
	庁費	-	2.3				
	委員等旅費	-	0.3				
	諸謝金	-	0.2				
	計	-	675				



事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	大学が生み出す革新的な研究成果を、世界を席卷し得るビジネスにつなげていくことが、世界標準のイノベーション・エコシステムの形成には必要不可欠である。本構想はキャンパス創設によるエコシステム形成を目指すものであり、国民や社会のニーズを的確に反映している。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	既存の施策との連携や、規制緩和等と一体的に取り組むことで、完全にグローバルな空間を構築し、国際的な研究・スタートアップ創出拠点形成が期待されること等から、特定の自治体や民間等に委ねることは不可能である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	革新技術の研究開発とスタートアップ創出を行う拠点づくりを海外大学等とも連携して進めることは、経済財政運営と改革の基本方針2022に基づき実施する事業であり、政策目的の達成のために必要かつ優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		
	競争性のない随意契約となったものはないか。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	
事業の有効性	緑越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	
関連事業	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	事業番号	事業名	
点検・改善結果	点検結果		
	改善の方向性		
外部有識者の所見			
行政事業レビュー推進チームの所見			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
備考			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
令和3年度			

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

科学技術・イノベーション担当推進事務局  
675百万円

- (1) 全体計画の検討に資する調査・分析(現状分析、先進事例収集、定量的なシミュレーション等)
- (2) グローバルスタートアップキャンパス構想の策定に向けた事業収支検討調査
- (3) 事業構想検討委員会(有識者会議)の運営
- (4) 各分野ごとの海外大学との交渉・フィージビリティスタディ



委託【一般競争契約(総合評価)】

民間企業等

- (1) 全体計画の検討に資する調査・分析(現状分析、先進事例収集、定量的なシミュレーション等)
- (2) グローバルスタートアップキャンパス構想の策定に向けた事業収支検討調査
- (3) 事業構想検討委員会(有識者会議)の運営
- (4) 各分野ごとの海外大学との交渉・フィージビリティスタディ

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)